

不適合情報

2026年2月27日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	中性子線サーベイメータの点検・校正において、校正前の指示値が判定基準を逸脱していることを確認した。当該測定器を校正済み。当該測定器での点検以前の測定記録を調査し、影響評価を実施。	2026/02/12	

4. Non-CAQ 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器(B)の海水入口弁または出口弁またはブロー弁のいずれかに、シートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2026/02/18	
2	4	原子炉建屋付属棟(管理区域)北東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/02/20	
3	6	タービン蒸気加減弁の暖機操作(蒸気を少しずつ流し弁を温める操作)において、弁開度の制御が初期制御から通常制御に自動で切り替わらなかったことを確認した。調査の結果、切替条件の弁開度に達していなかったものと推定。制御ソフトウェアの切替条件の設定値を変更して動作確認を行い、問題ないことを確認済み。	2026/02/15	
4	6	仮並列後の移動式炉内計装装置での炉内中性子分布測定において、装置(A)の測定分布が装置(B)(C)の測定分布と比べて僅かにずれが生じていることを確認した。原子炉起動後の温度上昇による装置案内管の熱膨張と判明。検出器の起点位置を調整し問題ないことを確認済み。	2026/02/16	